

2023年8月1日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

ＪＡグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当組合では、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

越前たけふ農業協同組合

I.取組状況

1 お客さまへの最適な商品提供 【原則2本文および（注）、原則3（注）原則6本文および（注2、3）】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。

＜投資信託の取扱い商品ラインナップ（2023年3月末時点）＞

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	3 (前年度末：3)
株式型	3 (前年度末：3)	5 (前年度末：6)
REIT型	2 (前年度末：2)	2 (前年度末：2)
バランス型	7 (前年度末：7)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

※ 商品選定の考え方：JAバンクHP（<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousisintaku/select/>）

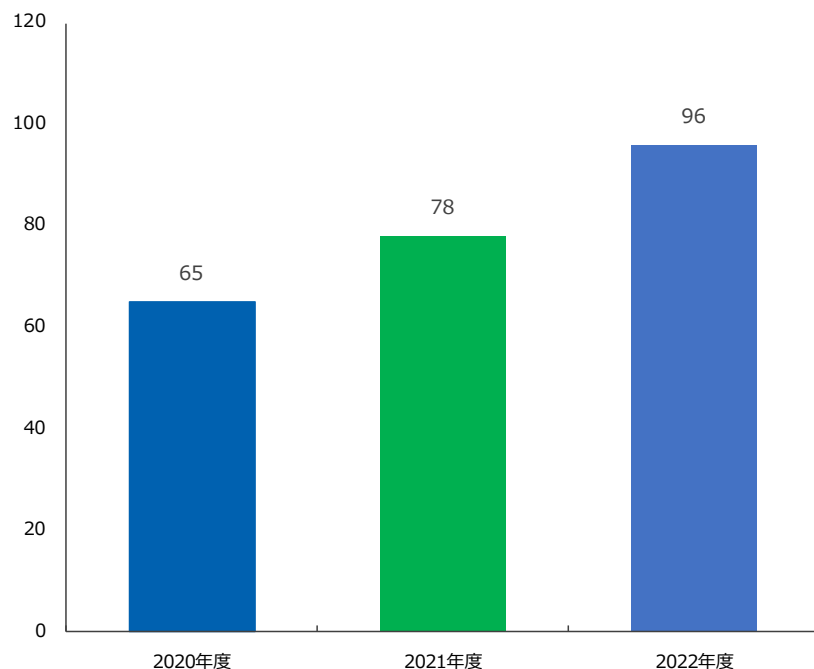
I.取組状況

2 お客さま本位のご提案と情報提供①【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

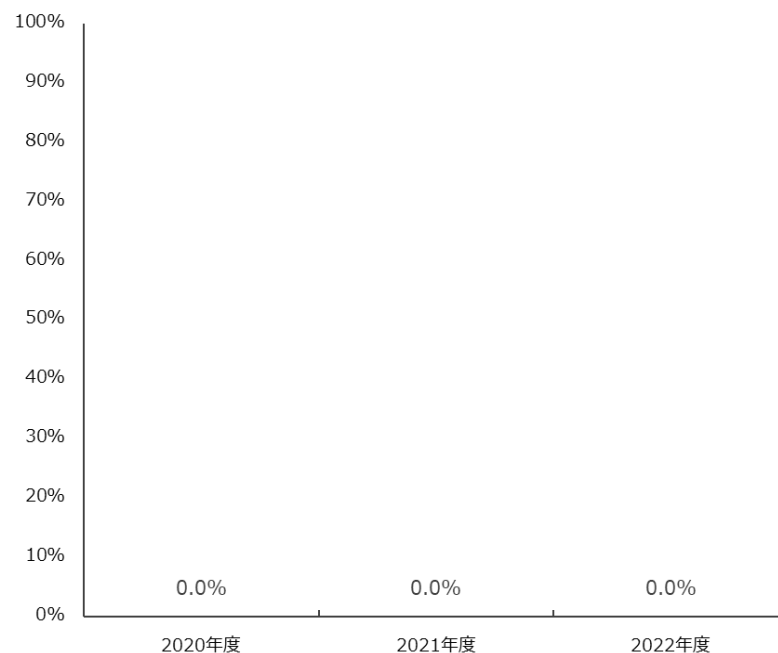
- お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせてリアルタイムな情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客さまが増加いたしました。

＜投信つみたて契約件数の推移＞

(件)



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞

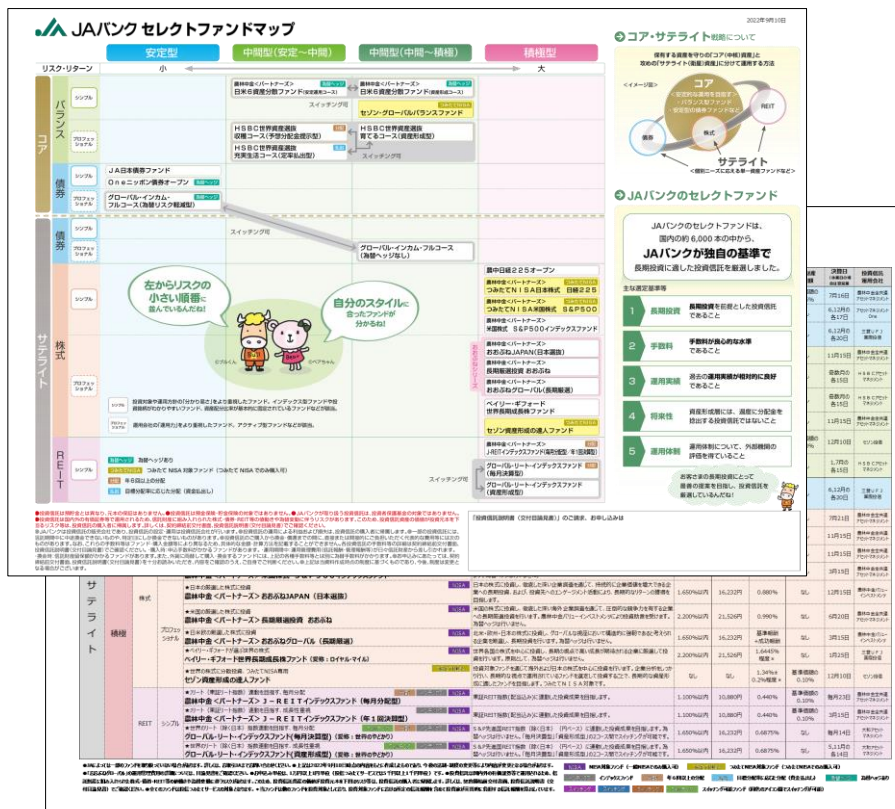


I.取組状況

2 お客さま本位のご提案と情報提供②【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について、分かりやすくご説明し、ニーズに合った商品をご提供するために、「JAバンクセレクトファンドマップ」等を活用し、簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

<参考1：JAバンクセレクトファンドマップ イメージ>



<参考2：重要情報シート イメージ>

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」 (金融事業者編)	
1.当組合の基本情報（当組合はお客様に金融商品の販売（又は販売仲介）をする者です）	
組合名	株式会社JAバンクセレクト
登録番号	北都財務局長（金）第50号
加入協会	ありません
当組合の概要を記したウェブサイト	http://www.ja-schiztake.co.jp/
2.取扱商品（当組合がお客様に提供できる金融商品の種類は次のとおりです）	
円金（投資性あり）	○
国内株式	○
円建て債券	○
外国債券	○
特殊な債券（社債等）	○
ファンド	○
REIT	○
保険（投資性あり）	○
これら以外の商品	DeCo
※1.共同運用を扱っていません。	
3.商品ラインナップのコンセプトや留意点は次のとおりです	
【JAバンクでは、いかなる商品にもリスクがあります。お客さまご自身のリスク許容度と商品に合った商品を選択する必要があります。一定の商品に投資したJAバンクセレクトファンドは、必ずしも元本が保証されず、元本が減少する可能性があります。また、三井UFJ銀行（株）証券代行サービスを通じて販売している商品（JAバンク証券代行サービス）は、証券代行サービスを通じて販売している商品です。	
【JAバンクセレクトファンドについて】 【JAバンクセレクトファンドのリスクについて】 JAバンクセレクトファンドは、主に以下の商品に投資しています。運用にあたっては、外部の有価証券の運用実績が、定期的に各商品の運用実績と一致するものではありません。 ①長期投資：将来の資産の増殖を目的として、長期にわたって運用する商品です。 ②分散投資：将来の資産の増殖を目的として、複数の商品に分散して運用する商品です。 ③流動性：将来の資産の増殖を目的として、流動性を確保した商品です。 ④リスク許容度：将来の資産の増殖を目的として、リスク許容度を考慮した商品です。 ⑤手数料：将来の資産の増殖を目的として、手数料を考慮した商品です。	
【ファンドのリスクについて】 ①元本割れのリスク：元本が減少する可能性があります。 ②流動性のリスク：流動性を確保した商品でも、流動性のリスクがあります。 ③手数料のリスク：手数料が将来の資産の増殖に影響を与える可能性があります。 ④リスク許容度のリスク：リスク許容度を考慮した商品でも、リスク許容度のリスクがあります。 ⑤その他のリスク：その他のリスクがあります。	
4.お問い合わせ窓口	
加入協会・共同運用窓口	0779-21-2604
金融庁・証券取引等監視委員会	0570-016811（03-5251-6811）
※1.共同運用を扱っていません。	

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および（注）】

- ・ J Aバンクでは、お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。
- ・ 金融商品の販売・推奨における利益相反が生じやすい場面において、重要情報シート等により利益相反が生じる可能性等を具体的にお客さまへご説明しております。

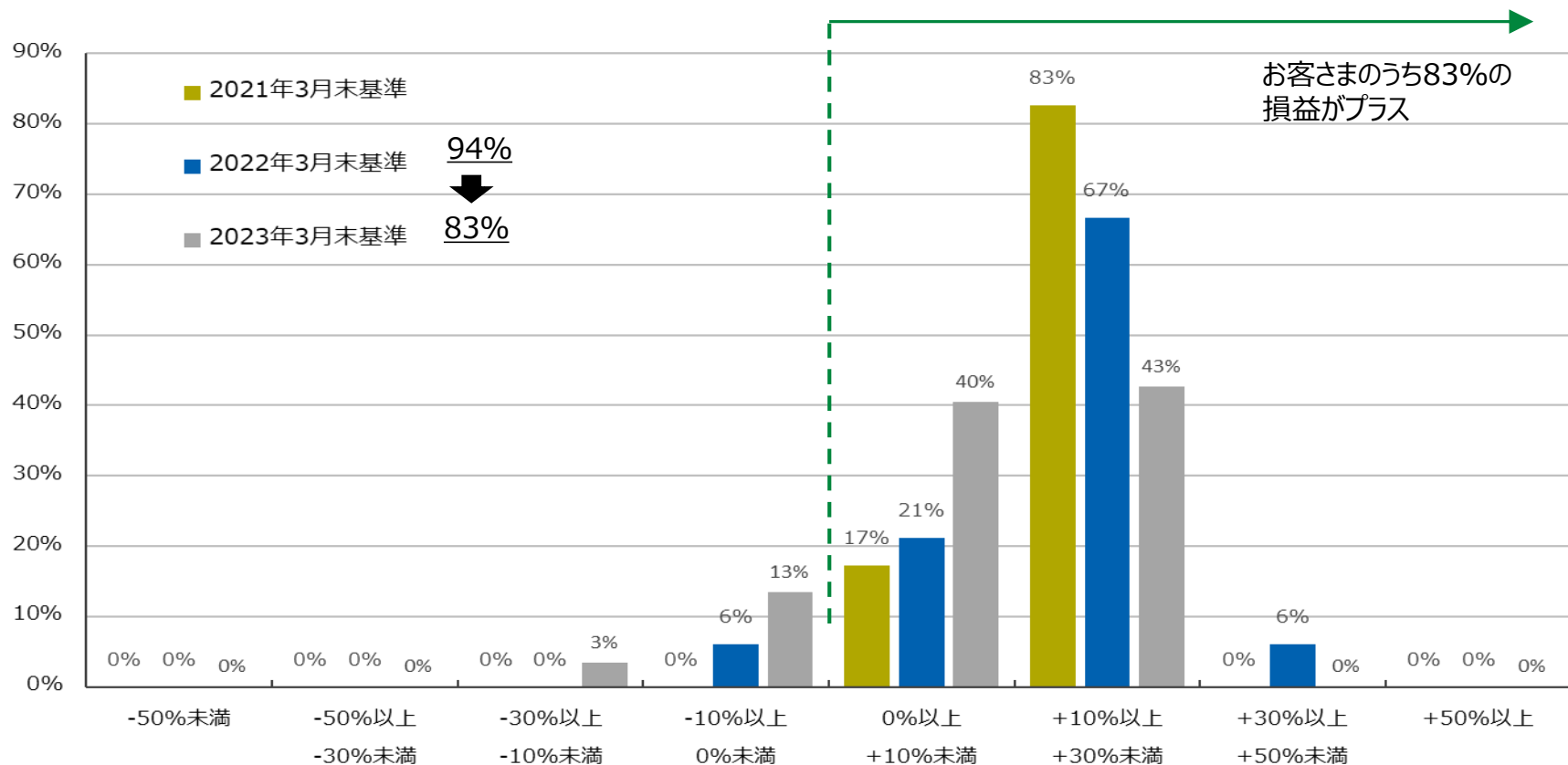
4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および（注）、原則6（注5）】 【原則7本文および（注）】

- ・ J Aバンクでは、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うとともに、お客さまに信頼される人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築するため、各種研修による指導の実施、資格の取得を推進しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2023年3月末時点では全体の83%のお客さまの損益がプラスとなりました。
- 2022年4月より取扱いを開始しておりますJAバンク資産運用サービス（ファンドラップ）につきましては、2023年3月末時点で実績はありません。

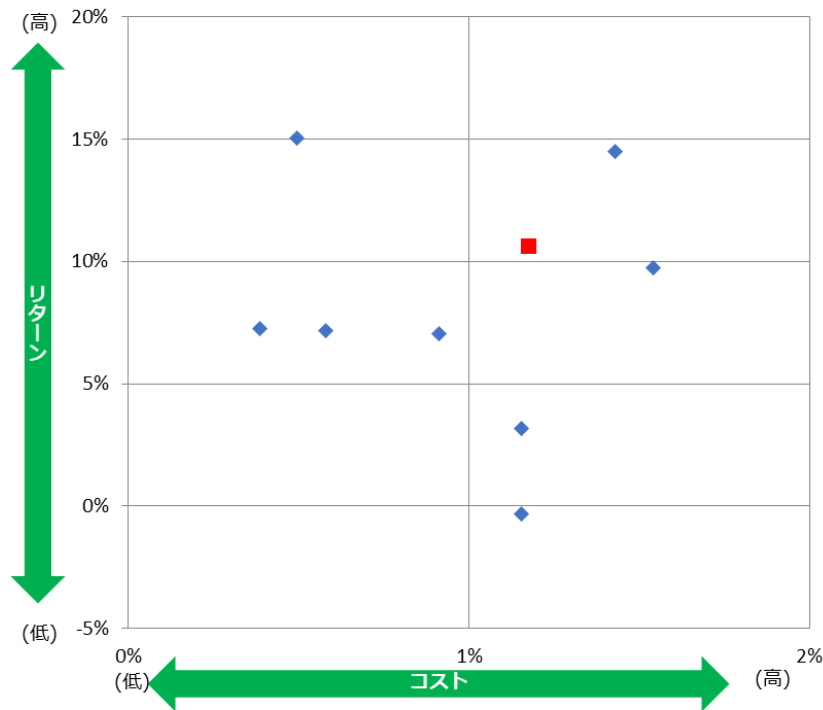


Ⅱ.比較可能な共通 K P I

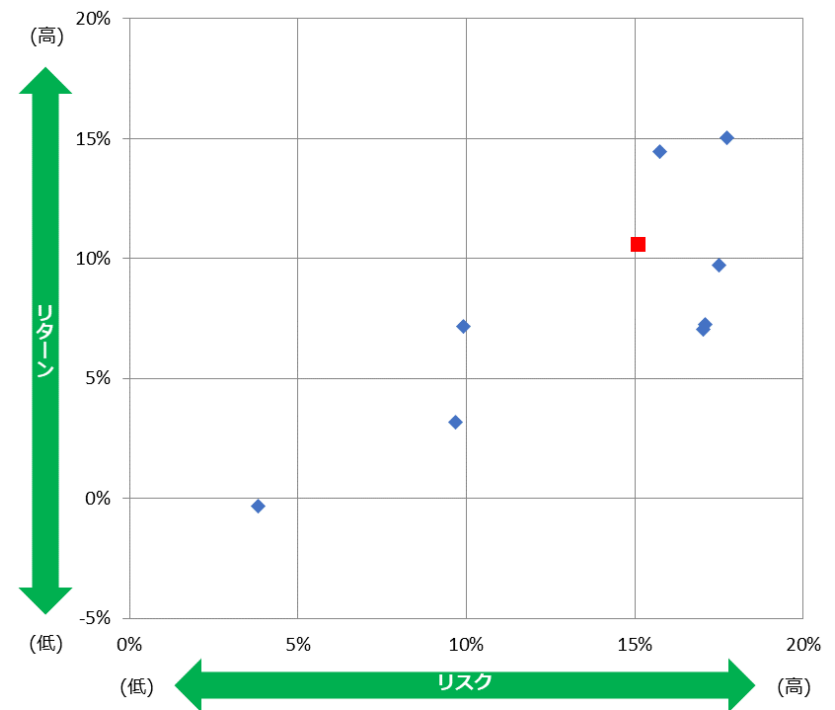
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2023年3月末）

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.18%、平均リスク15.11%に対して、平均リターンは10.61%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

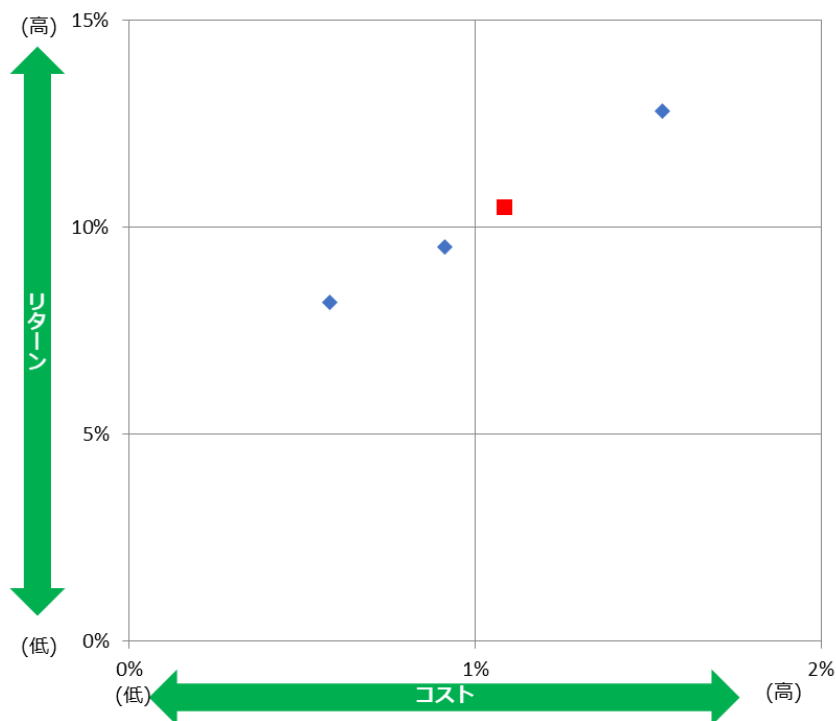
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

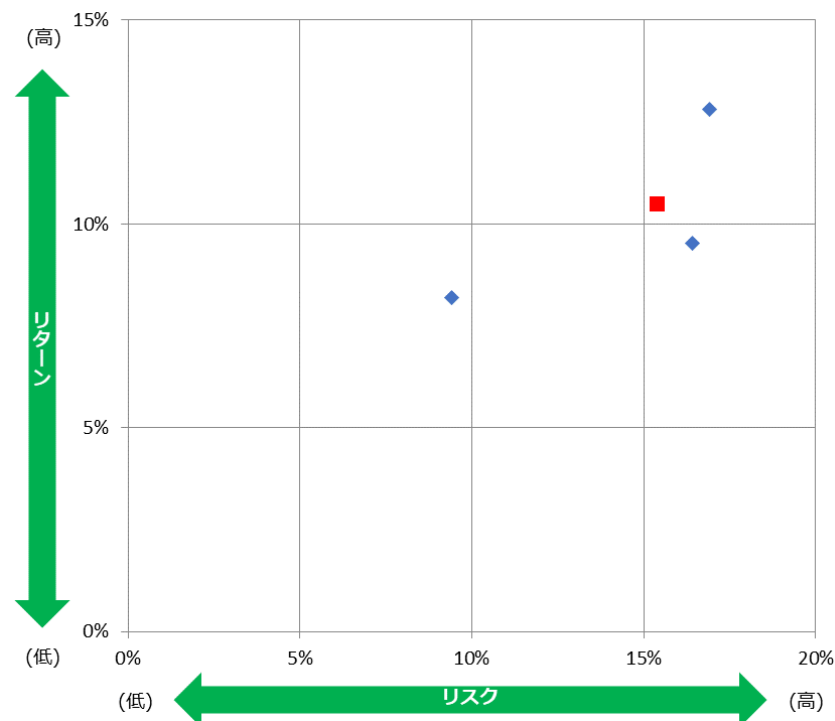
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2022年3月末）

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.08%、平均リスク15.38%に対して、平均リターンは10.50%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

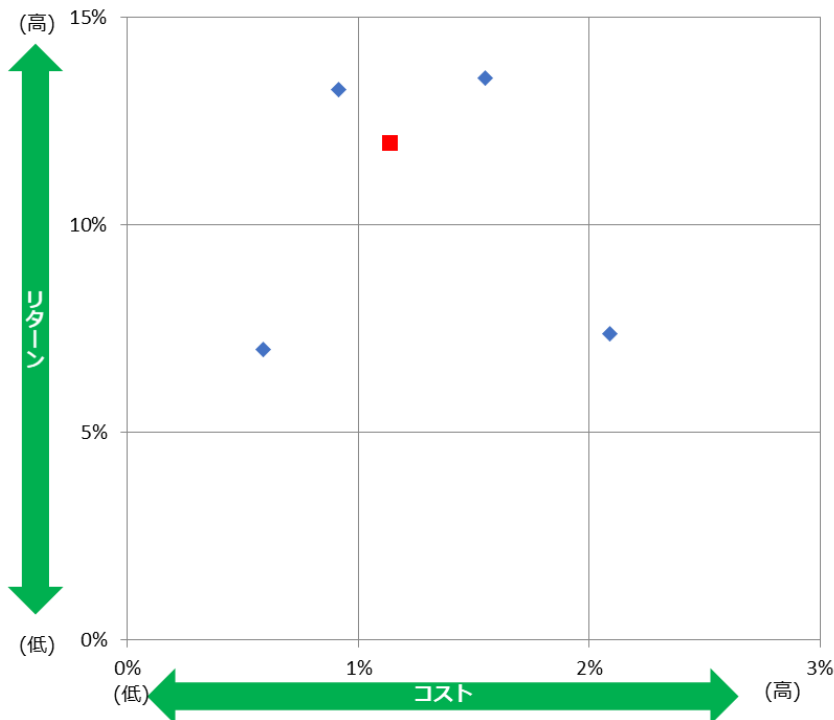
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

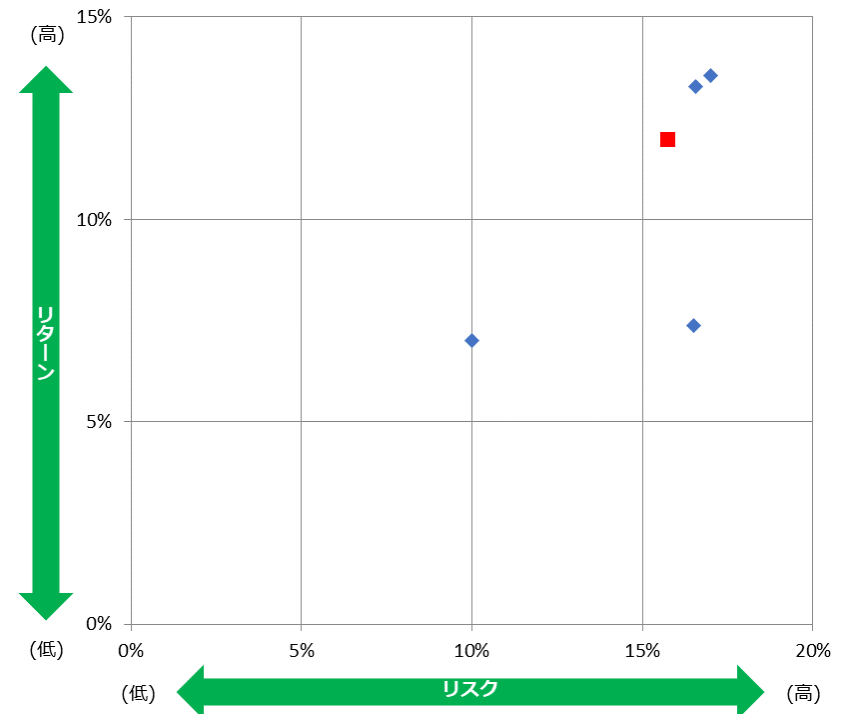
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2021年3月末)

- 2021年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.14%、平均リスク15.73%に対して、平均リターンは11.97%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2023年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	14.48%	15.74%	1.43%
2	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	9.73%	17.50%	1.54%
3	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	7.05%	17.04%	0.91%
4	日米6資産分散ファンド [※] （資産形成コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	3.16%	9.68%	1.16%
5	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.05%	17.74%	0.50%
6	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	7.18%	9.92%	0.58%
7	日米6資産分散ファンド [※] （安定運用コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-0.34%	3.81%	1.16%
8	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	7.26%	17.10%	0.39%
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		10.61%	15.11%	1.18%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は8本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2022年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.53%	16.42%	0.91%
2	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	12.81%	16.91%	1.54%
3	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	8.19%	9.42%	0.58%
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		10.50%	15.38%	1.08%

※ 2022年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は3本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2021年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	13.27%	16.56%	0.91%
2	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	13.55%	16.99%	1.55%
3	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.01%	10.00%	0.59%
4	J A 海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.37%	16.49%	2.09%
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		11.97%	15.73%	1.14%

※ 2021年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は4本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。